

## ■東京湾再生官民連携フォーラム通常総会と東京湾大感謝祭を開催！

東京湾再生官民連携フォーラム第六回通常総会は、10月20日(土)9時30分から、横浜第二合同庁舎1階共用第一会議室にて開催いたしました。

フォーラム議長代理 横浜国立大学大学院 中村 由行 教授の挨拶の後、同じく中村教授の進行のもと、平成29年度活動報告と決算報告、平成30年度活動計画と予算、PT活動報告などが行われました。

更に、平成27年度から交流の場の提供として取り組んでいるCSR-NPO未来交流会、企業・行政等施設見学会報告が行われました。

また、今年度は政策提案についての審議も行われ、「東京湾奥での海水浴復活のための第一次政策提案(案)」を東京湾再生推進会議へ政策提案することが承認されました。

この政策提案の審議にあたっては、反対意見が紹介され、議論の上承認されました。



第六回通常総会  
フォーラム議長代理 中村教授挨拶



東京湾大感謝  
ステージプログラムの1コマ

同日の10時から横浜港赤レンガ倉庫広場において「東京湾大感謝祭2018」が開催されました。今年は天候にも恵まれ、横浜赤レンガ倉庫広場を主会場に、大さん橋ホール、象の鼻さん橋、横浜赤レンガプロムナード、運河パークなど5会場での開催で、来場者10万5千名（東京湾大感謝祭実行委員会発表）がありました。

大感謝祭開会式には、国土交通大臣代理として国土交通大臣 阿達政務官、環境省自然環境局正田局長、東京湾の環境をよくするために行動する会理事・参議院議員朝日様、横浜市平原副市長・横浜港運協会藤木副会長が来賓として駆けつけて下さいました。

開会式では、正午の横浜港停泊船舶からの一斉汽笛にあわせて、セレモニー参加者全員で「東京ワン・ダー」の掛け声が行われました。

開会式は来賓の皆様方からご挨拶をいただき、最後に田久保大感謝祭実行委員長から開会が宣言されました。

開会式の後、昨年度創設された（一財）みなと総合研究財団が主催する「東京湾の海の環境再生賞」の授与式も行われました。

授与式では、「ハマの海を想う会」様へ国土交通大臣賞が国土交通大臣阿達政務官から、「マルハニチロ（株）」様と「NPO法人 館山海辺の鑑定団」様へみなと総合研究財団理事長賞が山縣理事長から授与されました。

また、感謝祭の今年度の目玉として、水上飛行機が横浜港のインナーハーバー海面に着水しました。

大感謝祭の実施に当たっては、官民の皆様方から大きなご支援・ご協力を頂きました。みなさま、どうもありがとうございました。

(担当 東京湾再生官民連携フォーラム事務局 中島)